

【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

セカンドライフを楽しむ貯蓄

発行者：牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和

牧野FP事務所 公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

<第419号の目次>

■ 今週のテーマ

セカンドライフを楽しむ貯蓄

■ 「人生の添乗員(R)」からのワンポイントメッセージ

■ 「人生の添乗員(R)」牧野寿和のプロフィール

■ 編集後記

それでは、

今週のテーマからはじめます。

*:**

■ 今週のテーマ

セカンドライフを楽しむ貯蓄

*:**

私たちは、生活をしていく上でも、
また、旅行に行くにも、
趣味の園芸をするにも、

何をするにもお金が要ります。

そのために備わった習性か、
欲しいものが見つければ、
まずは、その値段が気になります。

そして時には、
その欲しいものを買うために、
日頃の生活費を削って、
お金を貯めて購入することもあるでしょう。

しかし、年金が家計収入の中心になる、
老後の生活、つまりセカンドライフでは、

生活をしていくのが大変で、
買いたいものも買えない。
という話を聞いたりもします。

それはそれで、
お金を使わない観点からは、
よいかもしれませんが、
そんなことが続けば、
生活に張り合いがなくなり、
体調にも影響が出かねません。

そこで、今回は、
セカンドライフを楽しむために貯蓄をしよう！
と、ご提案したく思った次第です。

セカンドライフの生活をするために、
お金を貯めることは大切です。
それに加えて、
セカンドライフを楽しむ資金も貯めておくことは、
ご自身やご夫婦の
こころと体の健康維持のためにも、
必要だと私は思っています。

行動するためにはお金がいる

セカンドライフの生活のために、
現役の間にお金を貯めておきましょう！

といったお話はよく聞きます。

私も間違っていないと思います。

また、冒頭でもお話いたしましたように、
セカンドライフの生活に入ってから、
お金がないと、
旅行にも、趣味にも、
ご自身が楽しむ時間を作ることが、
資金不足から制限されるかもしれません。

そのために人によっては、
ご自宅に籠りがちになるかもしれません。

行動するためには、
それなりのお金が必要なのです。

このお金は、ご自身やご夫婦の
セカンドライフを楽しむ、
また生活に潤いをもたらすために、
必要なお金だとも言えます。

セカンドライフを楽しむのにも予算化が重要

例えば、退職したら、
ご夫婦で海外旅行をすると決めていたご夫婦が、
あらかじめ予算化しておいたお金で、
旅行に行ってきたとします。
旅行以外でも、
退職後にやりたいことを決めておき、
予算化しておいて実行するのは、
あまりお金の心配はないでしょう。

ただ、退職後海外旅行に行くことは決めてあり、
その旅費も予算化してあり、
そのお金で旅行に行ったとして、

その後のことも事前に決めてあり、
そのための費用も予算化していれば良いのですが、

時間は潤沢にあるセカンドライフで、
何をするのか、

何も決めていないと、

その時点から、

- ・また旅行に行こうとしても
 - ・手に付けたことを活かして、
起業をしようとしても
 - ・菜園を借りて野菜を育てようとしても
- など、セカンドライフに入ってから、
これからしたいことを考えても、

家計収支をみて、

- ・ことは止めておこう
 - ・今はやめておこう、
と先送りをして、
- 何もしないままで身体が衰えかねないのです。

参考数値として、

日本人が誰の手も借りず一人で生活できる
「健康寿命」は、、
男性が約 72 歳、女性が 74 歳と、
厚生労働省から発表されています。

人生 100 年と言っても統計数値では、
セカンドライフに入ってから時間は、
限られており、
楽しむことも以前に予算化しておかないと、
実際に行動することができない、
机上の空論に、
終わってしまう可能性もあるのです。

生涯の家計支出を見直す

-----、
ところで、セカンドライフを迎えるにあたり、
心配なことのひとつに。
家計支出が不透明なことが言われています。

収入は、あらかじめ見当はつくが、
支出がいくら位になるのかわからない。
だから、セカンドライフの生活費のために、
貯めておいたお金も簡単には取り崩せない。
と言われてもいますが、
一般的に、
セカンドライフでの家計支出は、

年齢とともに、

- ・食費が少なくなった
- ・外出が減った
- ・お金が底をついた

などの理由で、支出額が減少するかもしれません。

反対に、

医療や介護の費用が増加して、
支出額が増えるかもしれません。

従って、支出額がわからないことは事実です。

では、このような状況に対応するために、
どのように準備しておけばよいのでしょうか？

その方法として、

現役、セカンドライフを通じて、
支出額が一定額になるように、
現役中に家計支出を見直し、
支出額を貯蓄に回すことです。

現役の時代には、

現在よりも節約が強要されるかもしれませんが、
何より、セカンドライフでは、
お金の心配要素は軽減されるでしょう。

また現役中に、

セカンドライフの支出で生活することを
身につけておけば、
セカンドライフになってから、
節約する苦労もなくなるでしょうし、
現役中の貯蓄を増やす、
といった効果も期待できます。

また、セカンドライフの生活は、

セカンドライフになってから、
ゆっくり決めるのではなく、
現役中にあらかじめ決めおくことです。

旅行の計画をしていたけど、

病気に罹り旅行に行けなくなったら、
旅行の費用に予算化していたお金を、
治療費に支払えばよいのです。

臨機応変に使い道は変えれば良いので、
まずは、予算を立てて、
お金を確保しておくことが大切です。

*****:
■「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ
*****:

セカンドライフを楽しむには、

現役中から

セカンドライフを楽しむ予定を立て

そのための貯蓄をすることです

*****:
■人生の添乗員 (R) 牧野寿和のプロフィール
*****:

日本で唯一「人生の添乗員 (R)」を名乗れる

公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー

開業 17 年目

1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）以外は、名古屋で生活をする。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。業務で世界各地を廻っていた時、
日本の方と他国の方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。
そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャルプランナーの存在を知り、
日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003 年 牧野 FP 事務所を創業。
2018 年から牧野 F P 事務所合同会社を設立。

これまでに、延べ 900 件以上の様々な相談に対応。

現在は、相談者へのプランニングの助言と提案を主な業務とし、

相談者に、安心できる生活が送れるように、

丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・NPO 法人日本ファイナンシャルプランナーズ（FP）協会 CFP（R）認定者
- ・1級ファイナンシャル・プランニング技能士（資産設計提案業務）
- ・福祉住環境コーディネーター
- ・総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ～テレ（名古屋テレビ）「UP！」

<出版>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない！
頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

<監修>

「空き家」に困ったら最初に読む本」河出書房新社

現在、相談を受けている方は、名古屋市内はもとより
愛知、岐阜、三重県、
ご紹介をいただいて、首都圏や関西にも
足を延ばす機会が増えてきました。

「人生の添乗員（R）」は、どこまでも行きます。

他人を気にすることなく、
相談者ご自身にとって
有益な提案を心がけています。

■編集後記

セカンドライフで、

お金と身体の

心配のいらぬ生活をするためには、

まだまだ思っています、

思い切って、

現役中から準備をすることです！

【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

来週もご愛読のほど、
よろしく願い申し上げます。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は牧野寿和の登録商標です

■ 【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

発行：

牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

■登録・解除は、ご自身でお願いいたします。
こちらから出来ます。

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

■本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまで
お願いいたします

E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野FP事務所合同会社 公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

■記事内容に関してのトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。
ご自身の責任でご判断下さい。
